



都立高校には、魅力ある先進的な取り組みがいっぱい！
本項ではその特色ある取り組みの一部を掲載しています。

海外留学等

次世代リーダー育成道場

都立高校等の生徒を対象にした留学支援事業です。
留学先は、オーストラリア、ニュージーランド、アメリカ合衆国、カナダを予定しており、約11か月間ホームステイをしながら現地校に通います。
事前研修で、実践的な英語や日本の伝統文化、最先端の技術などを学びます。



【事前研修の様子】



【留学中の様子】



修了生の声



英語漬けの日々を過ごしたことで、英文の資料検索ができるようになり、学びの世界が格段に広がりました。

日本では経験できない多様性に触れることができ、互いを尊重することの大切さを学びました。



よくある質問

どのような学校の生徒が、参加していますか。

これまで、全日制・定時制の普通科、農業科、工業科、商業科、産業科、水産科、芸術科、国際学科、総合学科といった多様なタイプの学校から生徒が参加しています。

日本の在籍校での進級や卒業の扱いはどのようにになりますか。

留学の期間は、「留学」の扱いにできるため、現地校で修得した単位を所属校の単位に振り替え、入学時の学年で進級や卒業が可能です。

海外の大学に進学する修了生はどのくらいいますか。

約10人に1人が海外の大学に進学しています。



都立高校で国際交流

◆世界を知ろう、世界で学ぼう、自分の世界を広げよう◆

東京都教育委員会では、グローバル人材を育成する取り組みの一環として、国際交流に力を入れています。交流国は、令和5年度以降、拡大予定です。

派遣

1週間程度海外へ行き、現地で見聞を広め、多くの生徒にその成果を伝えます。

専門高校生海外派遣

工業、商業、農業等の職業学科の高校生が参加し、最先端の技術や取り組みなどに触れます。

〈令和4年度派遣国〉

アラブ首長国連邦、オーストラリア



〈現地の農場現場の視察〉

多文化交流派遣

現地の高校生と文化体験や共生社会に関する意見交換などを通じた交流を行います。

〈令和4年度派遣先〉

フランス、アラブ首長国連邦



〈ボッチャによる交流〉

受入

校内や都内で、留学生と交流します

東京体験スクール

相互に学校生活や文化を紹介します。

〈令和4年度受入国〉

カナダ、オーストラリア、ニュージーランド等



〈浅草散策〉

参加した高校生の声

- 世界ではスピード感が重要で、しっかりと計画した上で、すぐに取り組むことが大切だと思った。
- 自分の専門性をもっと高めて、社会に貢献するために自分ができることを考えていきたい。
- 世界に対して日本の魅力を発信するためには、自分が日本の文化や歴史を深く理解する必要があると感じた。
- 自分の英語が伝わって、話ができたことが嬉しかった。もっと話ができるように語学を勉強したい。

令和4年度の派遣の様子は、こちらの動画を御覧ください。



オンライン英会話

◆使える英語力を身に付けよう◆

グローバル人材の育成に向けた「使える英語力」の強化を目指し、「聞く」「話す」を中心に個々の生徒のコミュニケーション能力の伸長を図るため、ネイティブ講師との1対1での対話を行うオンライン英会話を実施しています。令和5年度は都立高校全校に取り組みを拡大しています。

○英会話の内容例

- ・日常生活から国際社会に関することまで様々な内容を題材にした会話
- ・スピーチやプレゼンテーションに向けた練習
- ・資格・検定試験のリスニング・スピーキング対策
- ・国際交流行事や海外修学旅行等に向けた会話の練習 等



〈小石川中等教育学校：授業でのオンライン英会話の様子〉

一人1台の学習者用端末

都立高校の生徒は、一人1台の学習者用端末(スマート・スクール端末)を毎日の学習や学校との連絡など、高校生活に不可欠なツールとして使います。



授業で使用する資料の配布やレポートの提出はスマート・スクール端末を通して行われます。学校からの連絡、委員会や部活動の情報交換などにおいても使われます。

自宅では、授業で課されたレポートや、自らテーマを設定する課題研究の論文などに取り組むために使用します。調べたことを発表するための資料を整えたり、スライドを作成したりすることもあるでしょう。

スマート・スクール端末は、生徒自身が管理します。使いやすくなるよう、自分の端末をカスタマイズすることができます。勉強に役立つものなど、必要なアプリ・ソフトウェアをインストールできます。

この端末は、都立高校の生徒にとって、高校生活を充実させるマストアイテムです。



都立高校への入学時に、学習者用端末の準備が必要です。

都立高校では、教育活動のあらゆる場面において、高校段階の学びにふさわしい生徒所有の一人1台端末を活用することにより、一人一人の力を最大限に伸ばしていきます。端末の購入には、東京都から支援があり、保護者負担額は原則3万円です。

令和5年度入学生の端末購入にかかる保護者負担額は、以下のとおりです。
(6年度入学生に対する支援内容については後日決定します)

保護者負担額* 30,000円	東京都支援額
--------------------	--------

端末価格

※ 扶養する23歳未満の子等が3人以上いる世帯や給付型奨学金受給対象世帯については、保護者負担額をさらに軽減する制度があります。(給付型奨学金については59ページ参照)
支援の詳細は、以下のリンクを御参照ください。

端末購入支援金について	https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/admission/tuition/tuition/device_monetary_assistance.html	
-------------	---	--

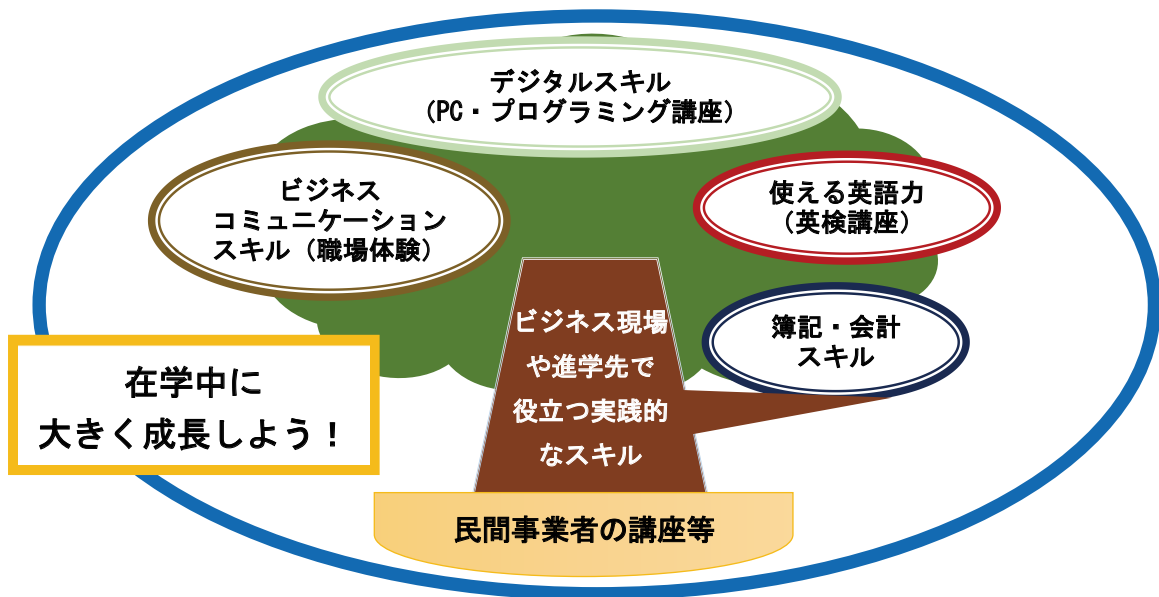
令和6年度入学生向け支援の詳細は、上記ホームページや情報教育ポータルサイト「とうきょうの情報教育」、都立高校合同説明会等で、随時お知らせします。

【問い合わせ先】 東京都教育庁総務部教育政策課 電話 03(5320)7477(直通)

スキルアップ推進校・ビジネス人材育成推進校

都立高校で実社会や進学先等で役立つ実践的なスキルを身に付け、大きく成長しよう！

- 東京都教育委員会は、今年度から新たに、普通科高校 15 校を「スキルアップ推進校」に、商業高校 10 校を「ビジネス人材育成推進校」として指定し、民間事業者の多様な講座等の受講を通じて、生徒が実社会や進学先等で役立つ実践的なスキルを習得できるようにしました。
- 高校3年間の在学中に、ビジネスの現場や大学等で求められる「デジタルスキル」や職場体験を通じた「ビジネスコミュニケーションスキル」、「使える英語力」などをしっかりと身に付けて、自分を大きく成長させよう！



スキルアップ推進校（普通科高校15校）

- ・大森高校
- ・蒲田高校
- ・深沢高校
- ・板橋有徳高校
- ・田柄高校
- ・光丘高校
- ・青井高校
- ・足立東高校
- ・多摩高校
- ・野津田高校
- ・東村山高校
- ・武蔵村山高校
- ・羽村高校
- ・秋留台高校
- ・五日市高校

ビジネス人材育成推進校（商業高校10校）

- ・芝商業高校
- ・大田桜台高校
- ・第一商業高校
- ・第四商業高校
- ・千早高校
- ・葛飾商業高校
- ・江東商業高校
- ・第三商業高校
- ・第五商業高校
- ・足立高校（定時制）



デジタルスキル

普

商

ワープロや表計算、プレゼンテーションソフトの基礎講座からプログラミング基礎まで、デジタル知識や技能を習得します。

※ 3年間の講座イメージ

- 高校1年生 Word・Excel・PowerPointの基礎講座
- 高校2年生 Word・Excel・PowerPointの応用講座やオンラインツール・ローコード開発
- 高校3年生 プログラミング基礎





職場体験（ジョブキャンプ）

普

商

興味・関心のある分野・企業での職場体験を通じて、ビジネスマナー・コミュニケーションスキルを習得するとともに、進学先や将来の職業選択の可能性を広げます。

将来の目標に向けて、進学先や就職先等を考えるきっかけに！
高校3年間で3つの業界体験を予定

体験申込

職場体験に参加する企業約200社から選ぶ

様々な業界分野

- ・食べる 食品・外食・農業
- ・もてなす 観光・ホテル・小売り
- ・創る IT・メーカー・ソフトウェア
- ・支える 医療福祉・教育・サービス
- ・楽しむ ゲーム・アミューズメント
- ・届ける 物流・運輸・倉庫

多様な体験プログラム

座学・体験・提案・ディスカッション
の4つの体験から2つ以上を
組み合わせたプログラム

1日目

ビジネスマナー研修を受講

経験豊富な講師によるビジネスマナー・
体験先企業の業界研究等の研修を受講

2・3日目

職場体験に参加

実際に企業に行って業務体験。働い
ている方とのコミュニケーションを通
じて興味があった業界がどんな仕事
をしているかを知る

4日目

事後研修を受講

職場体験を振り返り、興味関心がある
業界に進むために身に付けるべき知識や
スキル等の気づきを整理する。



使える英語力（英検）

普

商

実用英語技能検定（英検）の受験対策の指導等を通じて、
実用性の高い英語の技能を習得し、大学やビジネスの現場等で
求められる語学力を養います。

- 英検4級から準1級までの講座
- 資格取得のための効果的な教材を使用



簿記・会計

商

日本商工会議所簿記検定（日商簿記）の受験対策の指導等を通じて、
実用性の高い会計の知識や技能を習得します。

- 日商簿記3級から1級までの講座
- 日商簿記対策指導の経験が豊富な講師によるオンデマンド講座
- 資格取得のための効果的な教材を使用



都立工科高校

都立工業高校は、令和5年4月から都立工科高校に校名を変更いたしました。（校名に「工業高等学校」が入る15校が「工科高等学校」に変わりました。）

これからの東京の産業の成長を支える都立工科高校生の学びをより充実させていくため、東京都教育委員会では3つのスキルを身につけた新しいものづくり人材の育成に力を入れていきます。

<DX社会を支える「新生」都立工科高校のコンセプト>

ものづくり技能 × デジタルスキル × グローバルスキル

＝「新ものづくり人材」（新たな価値を創造する技能人材）

「ものづくり技能」に加え、IT・英語スキルの習得や、大学進学など

生徒一人ひとりが多様な進路を実現できるようにサポートしていきます。

1 ものづくり技能の習得

大手企業への就職に有利な多種多様な資格の取得にも積極的に取り組んでいきます。

取得できる資格の例

自動車整備士、電気工事士、危険物取扱者、ガス溶接技能者など



溶接技能実習

2 デジタルスキルの習得

ものづくりの基盤となる基本的技術に加え、今後一層重要性が増すITやデータスキルの基礎を学ぶ教育を充実させています。

特に、今後の産業社会で必要になるプログラミングなどのデジタルスキルの習得に力を入れていきます。



東京未来ファクトリー事業

3 グローバルスキルの習得

グローバル化が進む社会において活躍できるよう、英語力の育成に力を入れていきます。

工科高校での学びと関連する海外の取り組みや技術に触れたり、現地の高校生や技術者と交流したりする海外派遣を実施します。



専門高校生対象海外派遣研修事業
世界最大級の太陽光発電施設

★ 大企業への就職実績も多数あり！

工科高校は求人社数が非常に多く、就職に有利です。

毎年多くの卒業生が、大手自動車メーカーや鉄道業界、電力会社などに就職しています。

工科高校の卒業後の進路の詳細については、各学校のホームページをご覧ください。

工業系学科のアップデート

社会の変化に合わせ、既存の工業系学科を先進的な学科へと順次リニューアル(改編等)を進めます。令和6年度入学生から対象となる新たな学科は以下の3校です。

中野工科高等学校 <食品工業×工業化学>

令和6年度から、“食品サイエンス科(仮称)”(エンカレッジスクール)を設置します

豊かな食文化を誇る日本の「食」を工業的に捉え、調理・製造や分析、デザイン的にアプローチし、これからの食産業の発展を推進できる人材を育成していきます。

● 学びの特色

都立工科高校唯一の「食品工業」が学べる学校として、健康の維持・増進、疫病予防に期待のかかる食品について、学習していきます。

● 卒業後の進路

「食品工業」の学びを活かし、食品メーカーや飲食店、外食産業などへの就職や、専門的な技能・技術をさらに磨いていくための進学を支援します。



レトルト殺菌装置



(学校HP)

杉並工科高等学校 <IT×環境化学>

令和6年度から、“IT・環境科(仮称)”を設置します

ITスキルと環境リテラシーを兼ね備え、様々な社会の課題を解決する有為な人材を育成していきます。

● 学びの特色

従来からある普通教科の授業と一緒に、ITと環境に関する授業を受けることができます。

大学と連携した学びの取り組みで、高校の学びの先に大学の学びがあることが意識できます。

● 卒業後の進路

進学重視型の学校となり、四年制大学への進学を目指します。

大学でさらに専門性を高め、様々なジャンルの企業で活躍できるようになります。自分の好きなことや得意なことを仕事にできる未来が待っています。



課題研究の様子



(学校HP)

北豊島工科高等学校 <防災教育×工業技術>

令和6年度から、“都市防災技術科(仮称)”を設置します

防災に関する技術の学習を通し、産業や社会の持続可能性を支える人材を育成していきます。

● 学びの特色

「探究防災」という授業において、防災にかかわる課題発見から解決方法の立案までを総合的に探究する学習を取り入れます。

普通教科と工業の専門科目とを相互に関連付け、学校の教育活動全体で防災を軸にした教育を行います。

● 卒業後の進路

災害発生時に不可欠な電気・通信分野の企業などへの就職や地域防災に携わる公務員を目指す生徒をサポートしていきます。

また、大学や専門学校への進学にも対応します。



ドローン操作



(学校HP)

◎ 都立工科高校での取り組みを紹介した動画を公開しております。ぜひ一度ご覧ください。



<詳細版>



<概要版>

科学技術高等学校 | 理数科[※]（仮称）開設

令和6年度に、23区内の都立高校で初の理数科（仮称）を、科学技術高校に開設します。科学技術科の一部を改編し、SSH[※]の取組とともに、教科「理数」の特色ある科目及び理数探究を学習し、数学的・科学的な思考力を育成します。

※SSH 文部科学省スーパーサイエンスハイスクール



〈論理的・多角的な視点を育む個性豊かな授業〉

理数に関する学科

理数科の設置科目「理数数学」「理数数学特論」「理数物理」「理数化学」「理数生物」等で理数系分野の幅広い教養と、情報Ⅰ・情報Ⅱなどにより情報活用等の素養を併せ持ち、「理数探究」などにより、それらを生かした新しい価値（イノベーション）を生み出すことのできる人材を育成します。

科学技術科

科学技術科の学校設定科目「SS科学技術探究」「SS科学技術実習」「SS科学技術理論」などによって科学技術分野に関わるあらゆる分野の知識や技術を身に付け、「SS課題研究」などにより実社会における課題を解決できる資質・能力を育み、将来の科学技術者・研究者として活躍できる人材を育成します。

教育カリキュラム		学 年	教育カリキュラム	
理数探究等	理数科の専門教科・科目	第1学年	SS 課題 研究 等	科学技術科の学校設定科目
	理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱ 理数数学特論 理数物理 理数化学 理数生物 等	第2学年		SS科学技術探究 SS科学技術実習 SS科学技術理論 等
	普通教科・科目	第3学年		SS科学技術理論 等
				普通教科・科目
				国語、公共、歴史総合、 地理総合、論理・表現、 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ、 保健、体育、芸術 等
				工業系科目
				工業技術基礎・工業情報数理

こんな生徒を待っている！

- ◆ 科学技術に高い興味・関心がある
- ◆ 世界に向けて発信していきたい
- ◆ 研究活動に意欲がある
- ◆ イノベーションを生み出したい etc.

WEB 学習コース（通信制課程）

Q：「WEB学習コース（通信制課程）」とは、どのような取り組みですか？

A：都立通信制高校において、生徒が多様なメディアを利用した学習に取り組むことにより、面接指導（スクーリング）を受けるために登校する日数を、年5日程度とする取り組みです[※]。新宿山吹高校においては、担任による1週間に1回程度の自由参加のWebホームルームで、皆さんの学校生活を支援します。また自身の生活スタイルに応じて、月曜日を除く平日は、自習室や図書館を利用することができます。さらに、添削指導（レポート）についても一部電子化を行い、「いつでも どこでも だれでも」学べる環境を提供しています。（※ 高等学校学習指導要領第1章第2款5(5)に定める教育課程の特例による。）

☆WEB学習コースの特徴

- 生徒が多様なメディアを利用して行う学習（NHK高校講座、スタディサプリ、学校作成動画など）に取り組むことにより、面接指導を受けるために登校する日数を、年5日程度とします。
- 従来郵送により行っていた添削指導（レポート）の提出等を、電子化することで、タブレットやPCを用いて自由な時間・場所で学習を行うことができます。
- 所属の学校の学習システムにアクセスし、個々に割り当てられたIDとパスワードを用いてログインすることで、自身の学習状況を随時確認することや、学校生活や学習活動に関する情報を得る事ができます。

《実施している学校》

○新宿山吹高校（令和4年度試行、令和5年度から本格実施）

《今後順次実施予定》

○一橋高校 ○砂川高校



学校作成動画の例